

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 18 日

事務事業名		特別障害者手当等支給事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	010502000502
					単独/補助	補助	所属課	040101
政策体系		政策体系上の位置付け					社会福祉課	
総合計画の施策名		0105 障がい者福祉の充実						
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					課長名	
施策名		05 障がい者福祉の充実					グループ	
手段名		02 ②福祉サービスの充実					担当者名	
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業細		一般会計
		01	03	01	03	01	00	障害者福祉事業
法令根拠		特別児童扶養手当等の支給に関する法律、桜川市障害児福祉手当及び特別障害者手当等事務取扱細則						

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【特別障害者手当・障害児福祉手当】 在宅で常時特別な介護を要する最重度の障がい者・障がい児に対し、障がいによる物的かつ精神的な負担の軽減を図ることを目的として、手当を支給する。 【経過福祉手当】 国民年金法改正以前に福祉手当を受給していた障がい者に対しても、継続して手当を支給する。(経過福祉手当) ・手当額 特別障害者手当 月額 27,350円  (令和3年度) 障害児福祉手当 月額 14,880円 経過福祉手当 月額 14,880円 施設入所後2か月を超えて入院となった場合は、資格喪失となる</p>	<p>【担当者が行う業務の内容】 相談、認定請求書の受付、世帯状況・所得状況・障害状況の審査、支給(却下)決定通知書の送付。支払事務(年4回:住所確認・施設入所・入院等の確認、支給通知送付、支払い)、現況・所得調査(8月)、各種届出の処理。補助金申請、実績報告関連業務。 【実際に行った主な活動】 認定請求受付し、審査後、決定通知をする。毎月県に受給者の異動状況を報告する。5, 8, 11, 2月に指定口座に支払をする。8月には現況・所得調査をする。各種届の受付処理。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
令和3年度末 特別障害者手当受給者数 49人 障害児福祉手当受給者数 13人 経過福祉手当受給者数 2人	延べ人数 (特別障害者手当)	人	435.00	482.00	482.00	482.00	482.00
	延べ人数 (障害児福祉手当)	人	217.00	192.00	192.00	192.00	192.00
	延べ人数 (経過福祉手当)	人	60.00	50.00	50.00	50.00	50.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
	受給者数 (特別障害者手当)	人	33.00	49.00	50.00	50.00	50.00
	受給者数 (障害児福祉手当)	人	17.00	13.00	15.00	15.00	15.00
特別障害者手当支給対象者 障害児福祉手当支給対象者 経過福祉手当支給対象者	受給者数 (経過福祉手当)	人	5.00	2.00	2.00	2.00	2.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
	物的、精神的負担が軽減された障害者数	人	55.00	64.00	64.00	64.00	64.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
障がい者(児) 或いは保護者(養育者)の物的、精神的負担を軽減する			0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円	14,434	1,342	1,253		
	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	4,813	16,551	15,530		
	事業費計(A)	千円	19,247	17,893	16,783		
量	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	19 扶助費	17,893		19 扶助費	16,783	
合計	17,893		合計	16,783		

事務事業名	特別障害者手当等支給事業	事務事業No.	10502000502	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別障害者手当、障害児福祉手当については、常時介護を必要とする障がい者（児）の物的、精神的負担の軽減を目的に開始された。町村合併以前は、進達のみで県で認定、支給していた。合併後、福祉事務所の事務となる。特別障害者手当受給者はやや減少よりの横ばい傾向である。障害児福祉手当受給者は横ばいである。</li> <li>経過的福祉手当については、町村合併以前は県で支給していたが、合併後、福祉事務所の事務となる。制度上新規認定はなく、特に変化はない。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 手当を支給することにより、障がい者(児)あるいは保護者(養育者)の生活の安定が図られる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国の施策でもあり、障がい者(児)あるいは保護者(養育者)の福祉の向上のため。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 申請に基づき、条件を満たす者について認定している。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国の施策によるものであり、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は国の施策によるもので、認定された者に対し支給し、国の持ち分3/4、市の持ち分1/4となっており削減は困難である。また、人件費についても、事務処理に要する人員・時間は必要最低限であり削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条件を満たす障害者手帳所持者、及び医師の診断書に基づき、一定の基準で認定し支給するものであり、一部の受益者に偏っているとはいえない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	相談、申請から認定、支給とも円滑に事務は行なわれている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>